

地震活動解説書

2024 年 4 月 1 日から同年 4 月 30 日までの地震解説

月別地震発生回数及び EEW 発表回数は、3 月中に発生もしくは発表されたものであり、4 月に発表されたものに関しては含んでいません。

また、第一報の発表回数で、報数をすべて含んだ数ではありません。

【月別地震発生回数】		【月別 EEW(警報)発表回数】	
4 月	220 回(震度 6-:1 回)	4 月	4 回(詳細は解説内)

○地震発生回数順の震源地

注：ここでは 4 月 1 日～4 月 30 日 21 時までのものに限って表記しています

※一部の地震に関してはデータ不備のため回数に加算していません

回数	震源地	最大震度
40 回	石川県能登地方	震度 3
34 回	豊後水道	震度 6 弱
16 回	岩手県沖	--

解説：

石川県能登地方の地震は、今年元日に発生した「令和六年能登半島地震」の余震である。ただし、能登半島沖での発生回数は減ってきており石川県能登地方での地震の発生回数や発生のスパンから考慮すると、余震は完全な余震活動の静音状態へと移行している期間である。ただ、「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」の余震活動をみると本震の発生から時間をあけても大きな地震が度々発生していることから、現在もなお石川県能登地方あるいは、能登半島沖での地震には警戒しなければならない。

豊後水道の地震は、4 月 17 日深夜に発生した最大震度 6 弱、マグニチュード 6.4 と比較的大きな地震の余震である。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持った逆断層型の地震であり、深さ 39km であることから陸のプレートに沈み込むフィリピン海プレートの内部で発生した地震であったと推測でき、また、地震調査委員会においてもこの位置づけである。ま本書で言う「最新の地震・津波情報」とは、JMA から取得した正確な情報のことです。

2024 年 5 月 1 日 18 時 発行

## 地震活動解説書[2024/05/01 版]

た、気象庁は翌日未明に報道機関向けに会見を実施し南海トラフ地震が平時に比べ相対的に発生する確率が上がったと考えられなく、この地震の発生に伴い(臨時)南海トラフ地震に関する評価検討会を行うこともないとした。また、4 月 17 日深夜に発生した地震により気象庁は、緊急地震速報(警報)を発表した。そして、豊後水道では依然として余震活動が活発な状態である。

岩手県沖の地震は、4 月 2 日早朝に岩手県沿岸北部にて発生した最大震度 5 弱、マグニチュード 6.0 の地震と中規模の地震の余震である。また、4 月 2 日早朝に岩手県沿岸北部にて発生した地震により気象庁は、緊急地震速報(警報)を発表した。

緊急地震速報(警報)を発表した地震は、4 月 2 日 04 時 24 分に岩手県沿岸北部を震源とする最大震度 5 弱、マグニチュード 6.0 を観測した地震、4 月 3 日 8 時 58 分に台湾付近を震源とする最大震度 4、マグニチュード 7.7 を観測した地震、4 月 8 日 10 時 25 分に大隅半島東方沖を震源とする最大震度 5 弱、マグニチュード 5.2 を観測した地震、4 月 17 日 23 時 14 分に豊後水道を震源とする最大震度 6 弱を観測する地震にて気象庁は発表した。

本書で言う「最新の地震・津波情報」とは、JMA から取得した正確な情報のことです。